

令和 7年 1月 30日

広報公聴常任委員会委員長

広田 久男 様

東員町議会

片松 雅 弘

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7年 1月 27日 (月) ～ 1月 28日 (火)【 2日間】
研修(視察)先	和歌山県かつらぎ町・奈良県王寺町
目的(テーマ等)	議会だより全国入賞議会について
参加議員 (複数の場合)	片松雅弘・三林 浩・広田久男・山崎まゆみ・大崎昭一
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

東員町議会広報広聴常任委員会では、大きく分けて広報の議会だよりの作成と、広聴で町民の皆さんの声を聴いたり議会の内容を届けたりすることを目的とした委員会です。年に4回、定例会ごとに「議会だより」を発行しています。

見やすく伝わりやすく、そして読んでいただけるように記載内容やレイアウト、見出などを工夫して広報広聴常任委員の議員6名と議会事務局員1名で作っています。

東員町議会だよりは、定例会終了翌月の第一金曜日発行していて、自称日本一最速発行だと自負しています。

理由は2つあり、配布方法が自治会から業者に代わり経費を節約するため、町の広報誌と同時に第一金曜日に配達をするためです。

もう一つは月一回の配達日なので間に合わせなければ余分に1か月遅いお届けになってしまうからです。やはり広報誌も含め「議会だより」は鮮度がすべてで3月議会の出来事を5月にお知らせでは鮮度が落ちた情報やお知らせになってしまうからです。

しかし最速ばかりではなく、中身についてもカラーにしたり伝わりやすいようにキャプションをつけたり工夫していますが毎年、全国の「議会広報コンクール」などではかなり「良い出来です」とお褒めの言葉をいただきますが、今一步入賞には届きません。

そこで近年、入賞実績のある和歌山県かつらぎ町議会と奈良県王寺町に視察研修に行ってきました。

かつらぎ町は和歌山県の北東部に位置し高野山のふもとで大阪までは40 kmに位置します。人口15299人、世帯数7129世帯、面積151.69平方キロメートルですから東員町より人口は10000人ほど少ないですが面積は6倍強です。

議員定数は12名、議会だより編集特別委員会は6名で構成されています。

さすが入賞するだけあり、すっきりした構成に目を引く見出しで写真も大きく数も多く読みたくなる紙面でした。かつらぎ町議会も数年前に先進議会に視察研修にいき取り入れたのは、まず印刷業者をレイアウトや構成を含めて行っていただける専門印刷業者を募集選任して、議員は記事の内容を決めて写真を用意する、その後は専門印刷業者が見出し、文面、写真を選んで構成するとのことでした。

かつらぎ町議会は、議員の能力など専門ではないので低いから、業者に任せれば議員の想像以上の仕上がりができる。他の議会の良いところはTPP（徹底的にパクリ）したとお話しされました。

奈良県王子町では、コンサルタントの資格を持った職員が異論的にユニバーサルデザインを採用し視認性と高める文字の大きさや行間色の使い方、整列・近接・反復の法則などや視線の誘導など専門的に行っていました。

ここでもこの職員が構成やレイアウトなどを行っており、議員は記事を提出するという役割でした。東員町議会はすべて議員の手作りで記事選び、構成や見出し行い、また最速の発行していることは素晴らしいことですが、東員町議会でも広報広聴常任委員のメンバーが変われば現在のクオリティーや最速発行は難しいと思います。

東員町議会ではすべて議員が作らなければ意味がないと思っていましたが、結果的に手に取って読んでいただけることが目的なら、これは理にかなっているなと思いました。

業者にお任せできる場所はお任せすることは後ろ向きな考え方ではなく今後取り入れていくことも考えていきたいと思いました。
有意義な研修でした。